

(別紙)

水産業共同利用施設復旧整備事業に係る事後評価報告書(岩手県)

計画内容			事業完了年度	評価年度	評価の結果			
計画年度	番号	施設名			成果目標		現状値の説明	都道府県の評価結果
					目標値	現状値		
H25	274	水産物荷さばき施設	H27	R3	年間水揚量 2,296,000kg	年間水揚量 2,097,335kg	当初の計画どおりに施設が利用されており、順調に水揚げがされたことから、概ね目標を達成した。 (達成率91%)	施設の整備により、早期に養殖業が再開されたことで地域の水産業の復興に大きく寄与している。 概ね目標を達成しており、今後も施設が有効に活用されることが期待される。
H25	280	漁港環境施設	H27	R3	—	—	便所の復旧により震災前と同様に利用が図られた。	施設(便所)の整備により漁業者の就労環境が向上し、地域の水産業の復興に大きく寄与している。
H25	284	水産物荷さばき施設	H27	R3	年間取扱量 ポイル塩蔵ワカメ 40t	年間ポイル 塩蔵ワカメ生産量 22t	高齢化等により漁業者が減少したため、養殖ワカメ生産量自体が減少し、目標を下回った。 (達成率55%)	施設の整備により、早期に養殖業が再開されたことで地域の水産業の復興に大きく寄与している。就業者確保・育成や省力化の取組が必要であることから、引き続き、就業者の確保・育成等による生産量の回復に向け、指導・支援していく。
H25	285	水産物荷さばき施設	H27	R3	養殖物生産量 456t (一粒かき139t、 ほか養殖物317t)	年間養殖生産量 281t (一粒かき35t、 ほか養殖物246t)	多くの漁業者がカキ養殖からホヤ養殖に切り替えたため一粒かきの生産量が減少した。また、ホタテのへい死が多く水揚量が減少したため、目標を下回った。 (達成率62%) (一粒かき25%、ほか養殖物78%)	施設の整備により、早期に養殖業が再開されたことで地域の水産業の復興に大きく寄与している。ホタテの生残率向上に向けた取組が必要であることから、引き続き、生産量の回復による成果目標の達成に向けて指導していく。
H25	287	作業保管施設	H27	R3	貝類4種(殻付カキ、むき身カキ、ホタテガイ、イシカゲ貝)の年間販売数量 1,319t	年間販売量 1,098t	ホタテガイのへい死等により、生産量は若干減少したが、計画通り施設が利用されており、概ね目標を達成した。 (達成率83%)	施設の整備により養殖生産が再開され、地域の水産業の復興に大きく寄与している。概ね目標を達成しており、今後も施設が有効に活用されることが期待される。
H25	303	作業保管施設	H27	R3	水揚金額 305百万円	年間水揚金額 174百万円	サケ等の水揚量低迷のため、年間水揚金額が成果目標を下回った。 (達成率57% ニツ水45%、小壁79%)	施設の整備により定置漁業の操業が再開され、地域の水産業の復興に大きく寄与している。今回、成果目標を下回ったことは、サケ資源の減少によることからやむを得ないと判断する。
H25	310	漁船保全修理施設	H27	R3	漁船上架隻数 64隻	漁船上架隻数 46隻	組合員の高齢化・減少により、漁船隻数も減少傾向にあるため、目標を下回った。 (達成率72%)	目標を下回る結果となっているが、概ね適正に取組んでいる。今後、目標を下回らないよう、就業者確保・育成の取組を指導していく。
H25	312	ふ化施設	H27	R3	6,000千尾の稚魚生産・放流	10,081千尾 (H30年度)	施設を整備し、計画的に生産を行い、目標を大きく上回った。 (達成率168%)	施設の整備により、サケ親魚の採捕及び稚魚の生産の安定化を行うことで、サケ資源の回復に努め、地域経済の活性化に寄与している。 目標を達成しており、今後も施設が有効に活用されることが期待される。

(別紙)

水産業共同利用施設復旧整備事業に係る事後評価報告書(岩手県)

計画内容			事業 完了 年度	評価 年度	評価の結果			
計画 年度	番号	施設名			成果目標		現状値の説明	都道府県の 評価結果
					目標値	現状値		
H25	316	洗浄施設	H27	R3	ホタテガイ水揚数量 82t	ホタテガイ水揚数量 48.4t	ホタテ養成貝死滅と貝毒出荷規制(大槌湾 長期1月、5～8月、11～12月)の影響により、 目標を下回った。 (達成率59%)	施設の整備により洗浄能力が向上し、水揚 数量の向上に大きく寄与している。ホタテガ イ養殖漁業は適正に取り組んでいるが、高水 温等による斃死や貝毒出荷規制が重なり、 水揚数量が大きく減少した。販売数量の回 復に向け、目標を達成するよう指導してい く。
H26	319	養殖施設	H27	R3	年間生産量 養殖ワカメ 86.4t 養殖ホヤ 20t	年間生産量 養殖ワカメ 0t 養殖ホヤ 2.154t	ワカメの施設については、組合員の高齢 化や減少による行使者不足のほか、新規 就業者の育成を図りながら、将来的には 独立して個人経営ができるまでの教育の 場の提供として行った漁協自営養殖につ いては、従事者の確保が難しく生産でき なかった。 また、ホヤの施設については、人工採苗 により十分な量の種苗は確保したもの の、養殖期間中の種苗のへい死により、 生産量が減少したことから目標を大きく 下回った。 (達成率2%)	施設の整備により、早期に養殖業が再開さ れたことで地域の水産業の復興に大きく寄 与している。 今回は目標を下回る結果となっており、事 業実施主体に対し、ワカメの刈り取り出荷 時期に作業のない定置網漁業従事者等の 活用や、労働環境整備や漁協自営養殖体 制の見直し等により目標を達成するよう指 導していく。
H26	321	ふ化施設	H27	R3	採卵数 24,500千粒	採卵数 11,196千粒	県全域でサケが不漁のため、親魚の確保が 困難な状況となっており、目標を大きく下 回った。 (達成率46%)	施設の整備により、サケ稚魚の種苗生産が 再開され、地域の水産業の復興に大きく寄 与している。 今回は目標を下回る結果となっており、採 卵数の増加のため支援していくとともに、事 業実施主体に対し、目標を達成するよう指 導していく。
H26	322	漁港機能改善施設	H27	R3	—	—	353番と同様	353番と同様
H26	323	漁港機能改善施設	H27	R3	当該施設の年間 延べ利用日数 525日	当該施設の年間延べ利用 日数466日	当初の計画どおり施設が利用されており、 目標を概ね達成した。 (達成率89%)	施設(浮棧橋)の整備により漁業者の就労 環境が向上し、地域の水産業の復興に大き く寄与している。 目標を達成しており、今後も施設が有効に 活用されることが期待される。
H26	324	作業保管施設	H27	R3	施設の利用日数 (漁網の補修作業 125日/ 年、漁具の保管 365日/ 年、漁労等作業管理休養 施設利用 190日/年)	施設の利用日数 (漁網の補修作業 137日/ 年、漁具の保管 365日/ 年、漁労等作業管理休養 施設利用 188日/年)	当初の計画どおり施設が利用されており、 目標を達成した。 (達成率102%)	施設の整備により定置漁業の操業が再開さ れ、地域の水産業の復興に大きく寄与して いる。 目標を達成しており、今後も施設が有効に 活用されることが期待される。
H26	328	漁港環境施設	H27	R3	—	—	便所の復旧により震災前と同様に利用が図 られた。	施設(便所)の整備により漁業者の就労環 境が向上し、地域の水産業の復興に大きく 寄与している。
H26	329	漁港環境施設	H27	R3	—	—	便所の復旧により震災前と同様に利用が図 られた。	施設(便所)の整備により漁業者の就労環 境が向上し、地域の水産業の復興に大きく 寄与している。

(別紙)

水産業共同利用施設復旧整備事業に係る事後評価報告書(岩手県)

計画内容			事業 完了 年度	評価 年度	評価の結果			
計画 年度	番号	施設名			成果目標		現状値の説明	都道府県の 評価結果
					目標値	現状値		
H26	330	漁港環境施設	H27	R3	—	—	便所の復旧により震災前と同様に利用が図られた。	施設(便所)の整備により漁業者の就労環境が向上し、地域の水産業の復興に大きく寄与している。
H26	331	燃油補給施設	H27	R3	年間供給量 745kL (無鉛ガソリン 339kL、軽油 37kL、灯油 369kL)	年間供給量 601kL (無鉛ガソリン 287kL、軽油 44kL、灯油 270kL)	磯焼け等による採介藻漁業の操業回数の減少により、無鉛ガソリンの供給量が減少している。加えて、海水温の上昇により養殖こんぶのスソ枯れの進行が早く、養殖干しこんぶ製造時に用いる乾燥機用灯油の供給量が減少したが、概ね目標を達成した。(達成率81%)	施設の整備により、漁業者の給油時間が短縮され、地域の水産業の復興に大きく寄与している。概ね目標を達成しており、今後も施設が有効に活用されることが期待される。
H26	333	水産物蓄養施設	H27	R3	施設年間利用日数 360日以上	施設年間利用日数 365日	当初の計画どおり施設が利用されており、目標を達成した。(達成率101%)	施設の整備により、早期に養殖業が再開されたことで地域の水産業の復興に大きく寄与している。目標を達成しており、今後も施設が有効に活用されることが期待される。
H26	335	ふ化施設	H27	R3	稚魚放流尾数 49,800千尾 (ふ化場全体)	稚魚放流尾数 24,750千尾 (ふ化場全体)	県全域でサケが不漁のため、親魚の確保が困難な状況となっており、目標値を下回った。(達成率50%)	施設の整備により、サケ稚魚の種苗生産が再開され、地域の水産業の復興に大きく寄与している。今回は目標を下回る結果となっており、採卵数の増加のため支援していくとともに、事業実施主体に対し、目標を達成するよう指導していく。
H27	341	水産物荷さばき施設	H27	R3	ワカメ 129t コンブ 291t ホタテ 56t アワビ 20t ウニ 11t	ワカメ 293t コンブ 1t ホタテ 192t アワビ 7t ウニ 8t	①ワカメ 種苗の巻き込み数量が増加したため、目標を大きく上回った。(達成率227%) ②コンブ ワカメ養殖への切替により生産量が減少したため、目標を大きく下回った。(達成率0%) ③アワビ・ウニ 餌となる海藻等の繁茂状況が減少し、漁獲数量が減少したため、目標を下回った。(達成率 アワビ35%、ウニ73%) ④ホタテ 貝毒等による前年度未出荷分の出荷調整により増加したため、目標を大きく上回った。(達成率343%)	適正に取り組んでいるが、行使者の減少、資源変動等により、コンブ、アワビは目標を下回る結果となった。事業実施主体に対し、生産量の回復・増大に向け目標を達成するよう指導していく。
H27	342	作業保管施設	H27	R3	ホタテガイ・ボイルワカメ生産量 430トン	—	令和元年台風第19号で崩落した法面復旧事業(市事業)との調整のため、繰越を要し、令和3年3月に完成したため、現状値無し。	令和元年台風第19号で崩落した法面復旧事業(市事業)との調整のため、繰越を要し、令和3年3月に完成したため、評価不能。
H27	344	特認(定置番屋)	H27	R3	大入定置及び願松定置の水揚額 340,901千円	年間水揚金額 191,342千円	夏網のサバ・ワラサ類の不漁や主要魚種である秋サケの極端な水揚低迷により、目標を下回った。(達成率56%)	施設の整備により定置漁業の操業が再開され、地域の水産業の復興に大きく寄与している。今回、成果目標を下回ったことは、サケ資源の減少によることからやむを得ないと判断する。

(別紙)

水産業共同利用施設復旧整備事業に係る事後評価報告書(岩手県)

計画内容			事業完了年度	評価年度	評価の結果			
計画年度	番号	施設名			成果目標		現状値の説明	都道府県の評価結果
					目標値	現状値		
H27	346	作業保管施設 (No287の第2期工事)	H27	R3	貝類4種(殻付カキ、むき身カキ、ホタテガイ、イシカゲ貝)の年間販売数量 1,319t	年間販売量 1,098t	ホタテガイのへい死等により、年間販売量が減少したものの、概ね目標を達成した。 (達成率83%)	施設の整備により養殖生産が再開され、地域の水産業の復興に大きく寄与している。概ね目標を達成しており、今後も施設が有効に活用されることが期待される。
H27	347	養殖施設	H27	R3	ワカメ生産量 13t	ワカメ生産量 13.4t	養殖生産が順調に推移し、生産量を維持できたため、目標を上回った。 (達成率103%)	施設の整備により、早期に養殖業が再開されたことで地域の水産業の復興に大きく寄与している。目標を達成しており、今後も施設が有効に活用されることが期待される。
H27	348	養殖施設	H27	R3	養殖物(イシカゲ)の水揚量 2.2t	養殖物(イシカゲ)の水揚量 3.1t	当初の計画どおりに施設が利用されており、目標を大きく上回った。 (達成率141%)	施設の整備により、早期に養殖業が再開されたことで地域の水産業の復興に大きく寄与している。目標を達成しており、今後も施設が有効に活用されることが期待される。
H27	349	ふ化施設	H27	R3	サケ稚魚生産尾数 43,315千尾	サケ稚魚生産尾数 33,600千尾 (R2年度)	平成28年台風10号水害により、主群4年魚の回帰が全く期待できないことが予測されたので、早期から広域の海産親魚を活用したほか、北海道からの種卵移入を計画・実施した。これにより稚魚生産計画を達成した。(全県平均達成率は、移入卵含みで約57%である。) (達成率78%)	施設の整備により、サケ親魚の採捕及び稚魚の生産の安定化を行うことで、サケ資源の回復に努め、地域経済の活性化に寄与している。令和2年度は秋サケの不漁により目標値を下回ったが、生産尾数の増加に向け早期から海産親魚の活用に努めるよう指導を行っていく。
H27	350	ふ化施設	H27	R3	稚魚飼育尾数 17,100千尾 (第1ふ化場全体)	稚魚飼育尾数 14,624千尾 (第1ふ化場全体)	県全域でサケが不漁のため、親魚の確保が少なく、稚魚飼育数が減少したものの、概ね目標を達成した。 (達成率86%)	施設の整備により、サケ稚魚の種苗生産が再開され、地域の水産業の復興に大きく寄与している。概ね目標を達成しており、今後も施設が有効に活用されることが期待される。
H27	351	ふ化施設	H27	R3	サケ稚魚生産尾数 15,000千尾	サケ稚魚生産尾数 12,000千尾	県全域でサケが不漁のため、親魚の確保が少なく、稚魚飼育数が減少したものの、概ね目標を達成した。 (達成率80%)	施設の整備により、サケ稚魚の種苗生産が再開され、地域の水産業の復興に大きく寄与している。今回、目標は概ね達成されているものの、引き続き、採卵数の増加のため支援していくとともに、事業実施主体に対し、目標を達成するよう指導していく。
H27	352	ふ化施設	H27	R3	稚魚飼育尾数 12,000千尾	稚魚飼育尾数 7,800千尾	サケ回帰率の低迷により、計画どおり親魚を確保できなかったため、目標を下回った。 (達成率65%)	施設の整備により、サケ稚魚の種苗生産が再開され、地域の水産業の復興に大きく寄与している。今回は目標を下回る結果となっており、採卵数の増加のため支援していくとともに、事業実施主体に対し、目標を達成するよう指導していく。
H27	353	漁港機能改善施設	H27	R3	当該施設の年間延べ利用日数 681日	当該施設の年間延べ利用日数 685日	当初の計画どおり施設が利用されており、目標を達成した。 (達成率101%)	施設(物揚場)の整備により漁業者の就労環境が向上し、地域の水産業の復興に大きく寄与している。

(別紙)

水産業共同利用施設復旧整備事業に係る事後評価報告書(岩手県)

計画内容			事業 完了 年度	評価 年度	評価の結果			
計画 年度	番 号	施設名			成果目標		現状値の説明	都道府県の 評価結果
					目標値	現状値		
H27	359	漁港環境施設	H27	R3	利用者数 70人	利用者数 70人	漁港を利用する漁業世帯が利用し、概ね目標を達成した。 (達成率100%)	施設の整備により、漁業者の就労環境が震災前に回復し、地域の水産業の復興に大きく寄与している。 概ね目標を達成しており、今後も施設が有効に活用されることが期待される。
H27	364	漁港環境施設	H27	R3	—	—	便所の復旧により震災前と同様に利用が図られた。	漁港環境施設(便所)の整備により漁業者の就労環境が向上し、地域の水産業の復興に大きく寄与している。